

# 委員会会議録

(一社)滋賀県トラック協会

会議名	第3回 成長戦略委員会
開催日時	平成26年5月15日(木) 13:35~16:15
開催場所	滋賀県トラック総合会館 2F「特別会議室」
出席者	委員6名、事務局4名

協議内容
<p>定刻より5分遅れて開会。</p> <p>開会にあたり田中新会長予定者から自民党入党について協力要請がありあいさつとされ、続いて、外村委員長からこの委員会では業界が抱える諸問題について検討し、正副会長会議、理事会を経て県や国に対し業界としての要望を行っていききたいので協力をお願いしたいと述べられあいさつがあり議事進行を行った。</p> <p>(1) ドライブレコーダの映像情報提供に係る協定締結について</p> <p>大黒参事から参考資料1により内容説明と昨年9月に滋賀県警から当協会、バス協会、タクシー協会に対しドライブレコーダの映像情報提供に係る協定締結について申し出があったが、依然として進まない状況について報告があった。</p> <p>検討されたところ、協定締結により県や県民に対し協会のPRもでき、県に対し交付金の満額支給にも繋げることができるので、早急に協定締結について協会から働き掛けることになった。</p> <p>(2) 平成27年度県に対する要望について</p> <p>種村専務から昨年の県や国に対する要望と結果について参考資料2により説明があった。</p> <p>田中新会長予定者から当委員会で県トラック協会としての要望のラフ案を作り、正副会長会議で肉付けをし、理事会に提案していききたいと述べられた。</p> <p>続いて、外村委員長からあまり多くの要望を行わないで的を絞り実現可能な内容を考えていきたいと発言された。</p> <p>また、田中新会長予定者から例えば市街化調整区域の開発については様々な条件があるが最終的には弾力的に運用できるとの記載があり、知事の采配でどうにでも出来るのではないかとの発言があり、外村委員長から、もっと我々が勉強し県議会議員に要望できるようにしていきたいと述べられた。</p>

続いて、毎年、湖西バイパスの早期延伸について要望を行っているが、我々が申し出している以上に、最終的にはもっと先の敦賀ICまで繋げないと意味がないのではないかと。我々は県や国の構想については全く知らないまま、ただ要望をしているだけであり県や国がどう考えているが情報を得、勉強する必要がある。

8号線では栗東から彦根までの間で大変混雑する箇所がいくつもある。一方、1号線についてはバイパス工事が進んでいるが、8号線バイパスの話も以前からあるが全く進んでいない、又どうなっているかわからないのが現状であり、やはり情報を取り検討していくべきであるとの大方の意見があった。

外村委員長から近く琵琶湖大橋の通行料金問題について業界団体代表として会議に参加することになっていることを報告された。

出席委員から、近江大橋の様に無料になるのは良いことであるが、県道路公社では将来、維持管理するお金がなくなってくるのではないかと意見があり、田中新会長予定者から一部有料は仕方ない。近江大橋は産業道路であるが琵琶湖大橋は産業道路だけでなく観光道路でもある。この件についても我々も勉強する必要があるのではないかと述べられた。

検討されたところ、今後当委員会では、まずは市街化調整区域の開発許可、湖西バイパス、8号線バイパスの資料を手に入れ、検討し、我々の要望書を作っていくことになった。

その他、各支部からの要望についても例年通り行い当委員会で精査し、上記3項目と並行して検討する。最終的には10月の理事会で承認を得て、11月の県予算編成の要望としていくことになった。

なお、琵琶湖大橋の料金問題については県に専門委員会が立ち上がるので委員に選ばれた外村委員長からの報告を待つことになった。

### (3) 今後の防災対策に係る協会の取組等について

外村委員長から今まで県の防災訓練はお祭りのな行事になっている。実際、災害が起きた時に業界はどういう動きができるのか検討すべきである。例えば、県では災害時の優先道路の指定もされていない。県に対し意見具申をすべきであると去る7日の正副会長会議で提案され、当委員会で検討していくことになった旨説明があり、出席委員に対し意見を求められたところ次の発言があった。

- ・ 防災訓練は県民に対し、業界の活動を理解してもらえる内容でなければならない。今はパフォーマンスだけとなっている。メイン会場でも業界をアピールできていない。県の職員がトラックを先導しても道を間違えるというのが現実である。
- ・ 現実に即した訓練内容が必要である。

続いて、大黒参事から今年、県では物流支援マニュアルを作成し、今年の防災訓練で実施したいと考えているが、当日は「もりやま環境フェア」も行われ協会の体制が整わないのでできない。違う日にお願いしたいと申し出している。

また、県では実際の災害時には災対本部に輸送調整所を作ることになった。今後、例えば、どこの支部からどの事業所が何台トラックを拠出していくかなど決める必要があると述べた。

外村委員長から協会の中の組織に災害対策委員会を設置し、各支部でも組織化してもらい緊急の体制を作っていったらどうか。

組織があればすぐに動くことができ、又会員の意識付けにもなり必要なことである。

この2年間で災害対策委員会を設置することにより県や県民にもアピールでき、地域貢献もできるので今後前向きに検討していきたいと発言された。

その他、災害対策の一環として、例えば湖西バイパスの早期延伸が必要であるとアピールできるのではないかとの意見もあった。

次回委員会開催予定      平成26年6月23日(月)13時30分～      於：協会